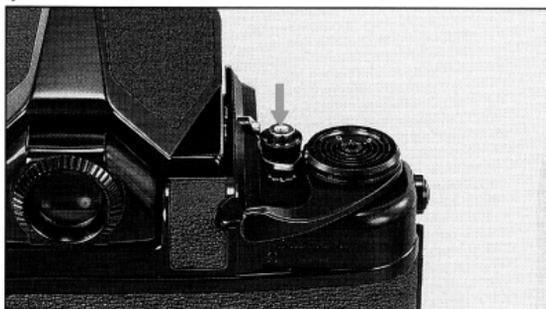


## 基本操作

21

### シャッター

1

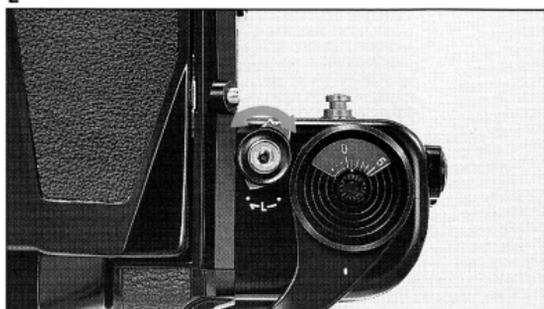


#### 1. シャッターボタン

シャッターボタンは静かに押して撮影しましょう。ボタン座に静かに指を乗せ、シャッターチャンスに合わせて指の腹で軽くシャッターを切ります。微妙なシャッターチャンスを逃さず、また、カメラぶれ予防のためにぜひ練習してください。

●シャッターボタンの中央の穴は別売りのケーブルリリースを差し込んで使用するためのものです。

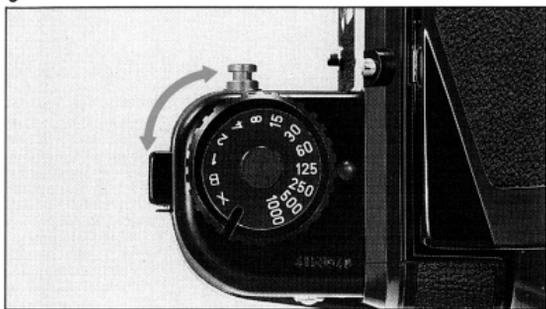
2



#### 2. シャッターボタンロック

シャッターボタンロックレバーを赤マークに合わせてシャッターがロックされ、元に戻すと解除されます。巻き上げ後に撮影を中断したときなどに不用意にシャッターが切れるのを防ぐためのものです。

●シャッターボタンをロックしてもケーブルリリースではシャッターが切れてしまいます。



### 3. シャッター

シャッター速度はシャッターダイヤルを回し、シャッター速度指標にあわせてセットします。シャッター速度は、X、B、1秒～1/1000秒まであり、ダイヤルには分母の数字を表示してあります。

- シャッターダイヤルをクリックストップ以外のところに合わせてシャッターを切るとT〔タイム：シャッターが開きっぱなし〕になります。
- 巻き上げをしたまま数カ月も放置しておくとしゃッターむらの原因になることがあります。

## 絞り



レンズの距離・絞り指標〔◇〕と向かい合う絞りリングの数字が絞り〔F値〕です。

F値とF値の間にクリックストップが付いていますので、各中間絞りも使用できます。JIS系列のF値とその中間絞りは次の通りです。

F値：

2・2.8・4・5.6・8・11・16・22・32・45

中間絞り：

2.4・3.4・4.8・6.7・9.5・13.5・19・26・38



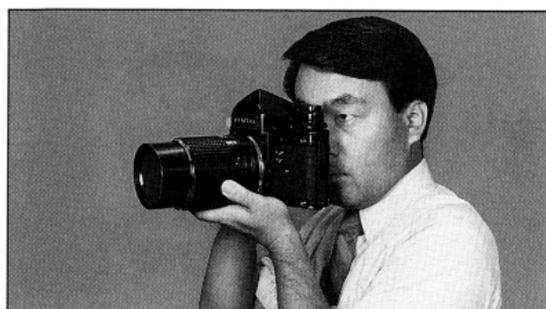
### 自動絞り

ペンタックス・タクマー67レンズは、数種を除いて、自動絞りになっています。

シャッターを切る瞬間だけあらかじめセットしたF値に絞られ、普段は開放絞りで被写体を見ることができます。

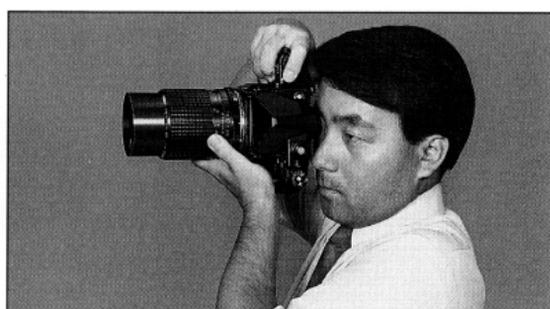
詳しくは、使用説明書「SMCペンタックス・タクマー67交換レンズの使い方」をご覧ください。

## カメラの構え方



手持でカメラぶれのない写真を撮るためにはカメラの構え方が大切です。フィルムを入れる前に練習してください。

基本的には、写真のように横位置と縦位置の2通りの構えがあります。いずれの構え方でも、カメラを顔や手で良く固定し、シャッターボタンは静かに押します。強く押すとぶれやすくなります。



足は、前後あるいは左右に少し開いて安定した姿勢を取ります。左腕のひじをからだに付けるようにしてください。木や建物、テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させるのもよい方法です。

スローシャッターで撮影するときや望遠レンズを使用するときは、しっかりした三脚に固定し、別売りのケーブルリリースをご使用ください。

25

## 視度調整とピント合わせ



### 1. 視度調整

正確なピント合わせの為、ファインダー像がよく見えるように視度調整が必要な場合があります。

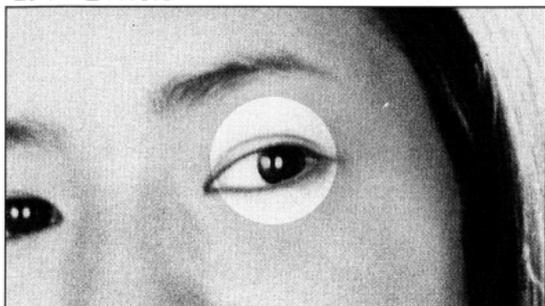
TTLペンタプリズムおよびペンタプリズムのファインダー視度は、 $-1\text{m}^{-1}$  [毎メートル] ですから1m先の新聞の文字がはっきり見える方は大丈夫ですが、そうでない方は、別売りの視度調整レンズをご使用ください。

眼科等で視度を測ってもらう方法もありますが、当社サービス窓口で実際に視度調整レンズを装着して見ていただくのが最も早道です。

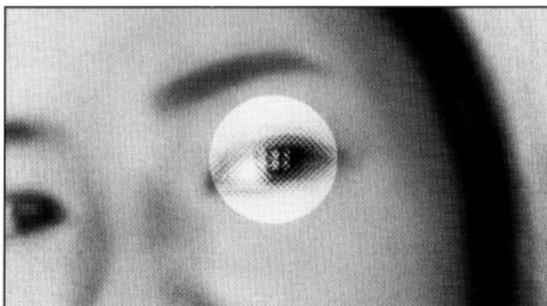
### 視度調整レンズの装着

接眼レンズの枠を左に回して外します。枠の内側のリングを矢印方向に回して外し、ガラス板と視度調整レンズを交換します。

ピントが合った状態



ピントが合っていない状態



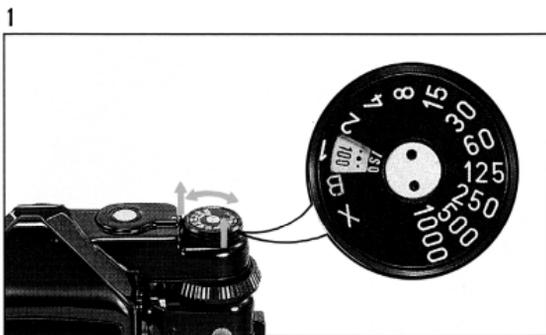
## 2. ピント合わせ

ファインダー像を見ながら、レンズの距離リングを回してピントを合わせます。

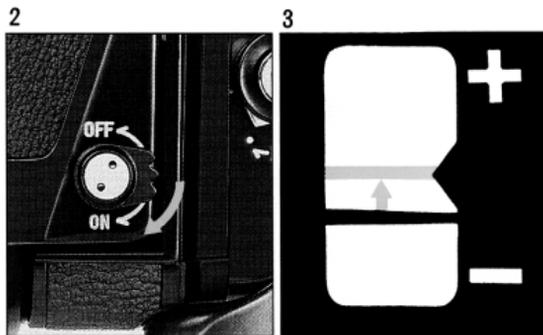
中央小円の部分がマイクロプリズムで、ピントが合うとギザギザの像がすっきりした像になります。マイクロプリズムの外の部分はマット面です。マイクロプリズムが使えないF5.6より暗いレンズを使用しているときなどは、マット面でピント合わせをします。

交換フォーカシングスクリーンについては、36ページをご覧ください。

## 露出



67は露出計を内蔵していませんので、撮影時には、TTLペンタプリズムか単体の露出計を使って被写体の明るさを測る必要があります。ここでは、TTLペンタプリズムを使用した場合の露出の決め方を説明します。



1. TTLペンタプリズムのシャッターダイヤルをつまみ上げ、回転させて使用フィルムのISO感度に合わせます。
2. ファインダー窓右のスイッチをONにして電源を入れます。
3. ファインダー内に写真のようなメーター指針が見えます。絞り、あるいはシャッター速度を調整して指針を中央に合わせると、被写体の明るさに応じた露出ができます。

● TTLペンタプリズムの詳細については、使用説明書「TTLペンタプリズムの使い方」をご覧ください。